

企業理念、グループ概要、目次、編集方針

マネジメント

トップメッセージ

ESG経営

東京建物グループのマテリアリティ

特集

環境

環境マネジメント

サステナビリティファイナンス

グリーンビルディングに関する外部評価・認証

気候変動への対応

汚染防止と資源循環

水資源

＞生物多様性

自然災害対策

社会

ダイバーシティ&インクルージョン

ワークライフバランス

人材投資・育成

健康経営／労働安全衛生

人権の尊重

品質・お客様満足の向上

不動産ストックの再生・活用

地域社会への貢献

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

リスクマネジメント

コンプライアンス

サプライチェーンマネジメント

データ集

第三者保証

## 環境

# 生物多様性

### 方針・考え方

不動産開発は地域の生態系や自然環境と密接に関係しているため、それらに直接的または間接的に及ぼす影響を把握し、適切な配慮をすることが必要です。

当社グループは、「グループ環境方針」に「緑あふれる潤いのある街・暮らしの創造」を掲げ、緑が持つ力を最大限に活かし、地域に元々ある植物の植生や生物の分布を調査し、植えるべき樹種を選定するなど、生物多様性に配慮した、豊かで快適な環境の創出に取り組んでいます。取り組みは、生物多様性保全に関する第三者認証制度ABINCや緑地の創出に関する第三者認証制度SEGESなど、公平な第三者の評価を受けています。

### 環境マネジメント P.15

### 生物多様性保全や緑地の創出に関連する第三者認証の例



ABINC認証



SEGES「つくる緑」



「都市のオアシス」

### 都市における生物生息環境の再生

「大手町タワー」(東京都千代田区)の「大手町の森」は、敷地全体の約3分の1(約3,600m<sup>2</sup>)に及びます。千葉県君津市の山林に約1,300m<sup>2</sup>の実証実験施設「プレフォレスト」を確保し、計画地と同じ生育環境で約3年かけて施工方法や植物の生育、適切な管理方法を検証ののち、君津で育成した土壌や植物を移植した「本物の森」です。

最初に植えた樹木・地被類が約100種のところ、約1年半後の生物多様性に関するモニタリング調査では約300種もの植物が確認されました。多くは土壌に含まれていた種子が育ったものと考えられ、国や都のレッドリストに記載される希少種も含まれています。

周辺は巨大ビルが林立するオフィス街ですが、近隣の皇居には多くの鳥類や昆虫類が生息することから、年々多様性が高まり、周辺緑地とのネットワークにより地域の生態系に貢献しています。すでに複数の鳥類が定着し、渡り鳥も確認されており、昆虫類は皇居からの飛来と思われるトンボが多くみられます。

「大手町タワー」は、生物多様性保全に関するABINC認証の取得、SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)の「都市のオアシス」認定などの評価を受けています。



大手町の森

サステナビリティサイト  
特集バックナンバー:「大手町タワー」都市と自然の再生  
(2016年公開)

### 都市における緑地の創出を通じた生態系の維持保全

緑地の少ない都市部で一定規模の緑地を設けるには、「緑地の保全」よりも「緑地の創出」が必要です。

「東京スクエアガーデン」(東京都中央区)では、新たな環境配慮型の複合ビルとして、太陽光発電や高効率熱源機器等の導入と合わせ、約3,000m<sup>2</sup>に及ぶ重層的緑化空間「京橋の丘」を設けています。生物多様性保全に関するABINC認証の取得、SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)の「都市のオアシス」への認定などの評価を受けています。

このような取り組みはビル事業のみならず、住宅事業でも積極的に進めており、「Brillia Towers 目黒」(東京都品川区)では、「駅前には森をつくる」というコンセプトのもと、敷地内に森の広場を整備して樹木約900本を植栽、水路も設けました。近隣の国立科学博物館附属自然教育園などと連携し、地域の生態系の維持・拡大を目指しています。

### 生物多様性のリスク評価の実施状況

当社は、不動産開発を行う際に、環境影響評価や自然保護等に係る法令・条例に基づき、動植物や生態系への環境アセスメント評価を実施し、必要に応じて樹木や樹林等の保存・移植、保全等を行っています。